

カーポート設置工事



大事な確認事項まとめ

1. 駐車スペースとカーポートのサイズ

駐車する車のサイズと台数:

現在使用している車だけでなく、将来的に大きな車や台数が増える可能性も考慮して、適切な奥行き、幅、高さを確認しましょう。ドアの開閉や人の乗り降りのスペースも十分に確保できるか確認してください。

駐車場の形状:

長方形だけでなく、L字型や変形した形状の駐車場もあります。形状に合わせて、カーポートのタイプや柱の位置などを検討する必要があります。

隣地境界線との距離:

民法では、境界線から一定の距離（通常は50cm以上）を空けることが推奨されています。将来的なトラブルを避けるため、業者に確認してもらいましょう。

道路からの出入りのしやすさ:

カーポートの柱の位置が、車の出し入れの邪魔にならないか確認してください。

2. 地盤と設置場所の状況:

地盤の強度: カーポートの重さに耐えられる地盤かどうかを確認します。軟弱な地盤の場合は、地盤改良が必要になる場合があります。業者に地盤調査の必要性を確認しましょう。

傾斜: 駐車場に傾斜がある場合、カーポートの設置に影響が出る可能性があります。水平に設置できるか、傾斜に合わせた施工が必要かなどを確認してください。

配管・配線: 地下や地中にガス管、水道管、電気配線などが埋設されていないか確認します。もし埋設されている場合は、移設工事が必要になる場合があります。

雨水排水: カーポートに降った雨水の排水方法を確認します。隣地への流れ込みがないか、側溝への排水がスムーズに行えるかなどを確認しましょう。

障害物: 設置場所に、庭木、灯籠、エアコンの室外機などの障害物がないか確認します。もしある場合は、移設の必要性や費用について業者と相談しましょう。

3. 周辺環境:

日当たり: カーポートの設置によって、家の日当たりが悪くならないか確認します。特にリビングなどの日当たりの良い部屋に影響がないか注意しましょう。

風向きと強さ: 強風がよく吹く地域では、耐風性の高いカーポートを選ぶ必要があります。風の通り道を考慮した設計になっているか確認しましょう。

積雪: 雪が多い地域では、耐雪性の高いカーポートを選ぶ必要があります。積雪量に合わせた強度があるか確認しましょう。

近隣への影響: カーポートの設置によって、隣家の景観を損ねたり、騒音が発生したりしないかなど、近隣への配慮も忘れずに行いましょう。

4. カーポートの種類と仕様:

- デザイン:** 住宅の外観に合ったデザインを選びましょう。
- 素材:** アルミ製、スチール製、木製など、素材によって耐久性やメンテナンス性が異なります。それぞれの特徴を理解し、予算に合わせて選びましょう。
- 屋根材:** ポリカーボネート、熱線遮断ポリカーボネート、スチール折板などがあります。断熱性や採光性を考慮して選びましょう。
- オプション:** 照明、雨樋、サイドパネルなど、必要に応じてオプションを追加することも検討しましょう。

5. 業者選びとのコミュニケーション:

- 要望の明確化:** どのようなカーポートを希望するのか、予算、重視する点などを具体的に伝えましょう。
- 質問をする:** 不明な点や疑問点は遠慮せずに質問しましょう。
- 保証内容:** 保証期間や保証範囲などを確認しましょう。
- 施工期間:** 施工にかかる期間を確認しましょう。
- 安心と信頼:** 創業からの年月や実績、実店舗や事務所などの拠点があるかなど、メンテナンス等も対応できる信頼できる業者に頼みましょう。

現地確認は、業者と直接コミュニケーションを取りながら、実際に設置する場所を確認できる貴重な機会です。上記のポイントを参考に、しっかりと確認を行い、安心してカーポート選びをしてください。

株式会社 江村工設

福井県敦賀市木崎5号30-1

(0770) 20-1999